

教科名	国語	単位数	3単位	担当者	太田幸夫・西畑晋也・鶴間乃笛子
科目名	古典探究	年次	3		
使用教科書 副教材等	『精選古典探究 古文編／漢文編』（東京書籍） 『プレミアム国語便覧』（数研出版）『古文単語330』（いいずな書店） 『読解をたいせつにする体系古典文法』・『読解をたいせつにする体系古典文法ノート』（数研出版） 『新明説漢文』・『新明説漢文ノート』（尚文出版） 『大学入試国語頻出問題1200』（いいずな書店） 『共通テスト対策【実力養成】重要問題演習 古典』（ラーンズ） 『共通テスト国語過去問題 総合版令和4～令和7年』（尚文出版）				
1 学習の到達目標（育成すべき資質・能力）					
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
2 学習の評価（評価規準と評価方法）					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
主 た る 評 価 方 法	考査（年3回） 確認テスト（適宜） 授業時の観察	考査（年3回） ※「読む」領域 確認テスト（適宜） 提出物（適宜） ※「書く」領域 授業時の観察	小テスト（取り組み） 授業時の観察 ※単元毎の振り返り 10% ※語彙習得の取り組み 10%		
占 め る 割 合	40%	40%	20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

